

# アマタHDと三井住友FL、廃棄物管理で新会社

2024/02/19 19:50 日本経済新聞電子版 354文字

リサイクルのアマタホールディングス（HD）とリース大手の三井住友ファイナンス&リースは、産業廃棄物管理の新会社を4月に設立する。両社がもつシステムのノウハウを共有するほか、サポートセンター統合による運営費の削減といった効果を狙う。

4月1日付で新会社「サーキュラーリンクス」を設立する。三井住友ファイナンス&リース子会社のSMFLみらいパートナーズとアマタHDが折半出資する。システム事業の統合のほか、産業廃棄物管理の受託事業で協業。リースの知見を活用した新規事業の開発も狙う。2028年度に年間売上高10億円を目指す。

アマタHDと三井住友ファイナンス&リースは23年11月、廃棄物管理での連携に関する基本合意書の締結を発表していた。新会社設立を通じて、さらなる業務の効率化やサービスの質向上につなげたい考え。

許諾番号30097681 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.